



2026年5月15日

各 位

会社名 株式会社カーリット
(URL : <https://www.carlithd.co.jp>)
代表者名 代表取締役兼社長執行役員 金子 洋文
(コード番号 4275 東証プライム)
問合せ先 経営企画部広報・IR推進室長 山本 孟
(TEL : 03-6893-7060)

中期経営計画 Challenge2027 ローリングプラン 2026 策定のお知らせ

当社は、2025年3月28日に中期経営計画「Challenge2027」を公表いたしました。本日開催の取締役会において、経営環境の変化や業績動向をふまえ、「ローリングプラン 2026」の策定を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 背景

本日、別途2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)を開示いたしました。これにともない、内外の経営環境の変化を考慮し、重点領域事業を中心にさらなる事業開発投資の計画を進めていることから、成長ビジョンや各種成長投資の状況等についてお伝えするものです。

2. 基本方針

中期経営計画 Challenge2027 の基本方針や数値目標に大きな変更はございません。

3. 概要

- ・2025年度の振り返り
- ・成長ビジョンと進捗
- ・キャピタルアロケーション
- ・設備投資計画
- ・宇宙防衛事業の将来構想
- ・人的資本投資
- ・資本コストを意識した経営

詳細については別紙をご覧ください。

以 上

中期経営計画 **C**hallenge2027 Rolling Plan 2026

2026/5/15



株式会社カーリット

中期経営計画 Challenge2027 Rolling Plan2026

1. 2025年度の振り返り
2. 成長ビジョンと進捗
3. キャピタルアロケーション
4. 設備投資
5. 宇宙防衛事業の将来構想
6. 人的資本投資
7. 資本コストを意識した経営

1. 2025年度の振り返り

◆ 2025年度の外部環境変化の振り返り

社会・経済環境

- ✓ 素材、エネルギー、物流費用等の上昇による物価の高止まり
 - ✓ ウクライナ・中東・台湾情勢など地政学リスクの高まりが常態化
- **地政学リスクに応じた安全保障に対する考え方の変化**

上場企業に対する要請

- ✓ 資本コストを意識した経営のさらなる高度化
- ✓ 成長投資のストーリー、非財務情報の開示強化
- ✓ 選択と集中の明確化を伴う事業ポートフォリオの最適化

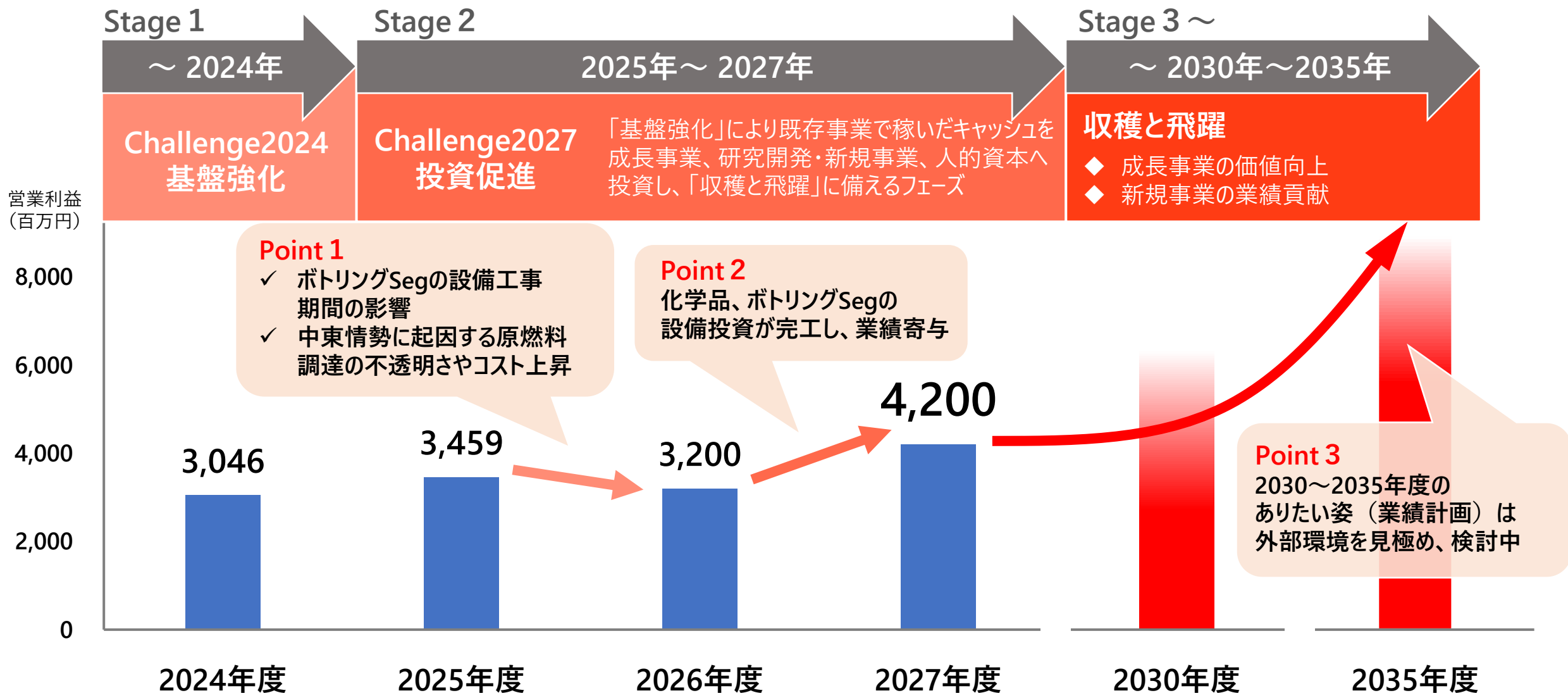
◆ 2025年度のカーリットグループの状況

- ✓ 過去最高益（営業利益34億円超）
- ✓ 過塩素酸アンモニウムの増産設備投資、固体推進薬の研究開発 = 重点領域事業は順調に進捗。

外部環境の変化を考慮しながら重点領域事業を中心にさらなる事業開発投資を計画

2. 成長ビジョンと進捗

◆ 2035年に向けた成長ビジョンと中期経営計画Challenge2027の進捗



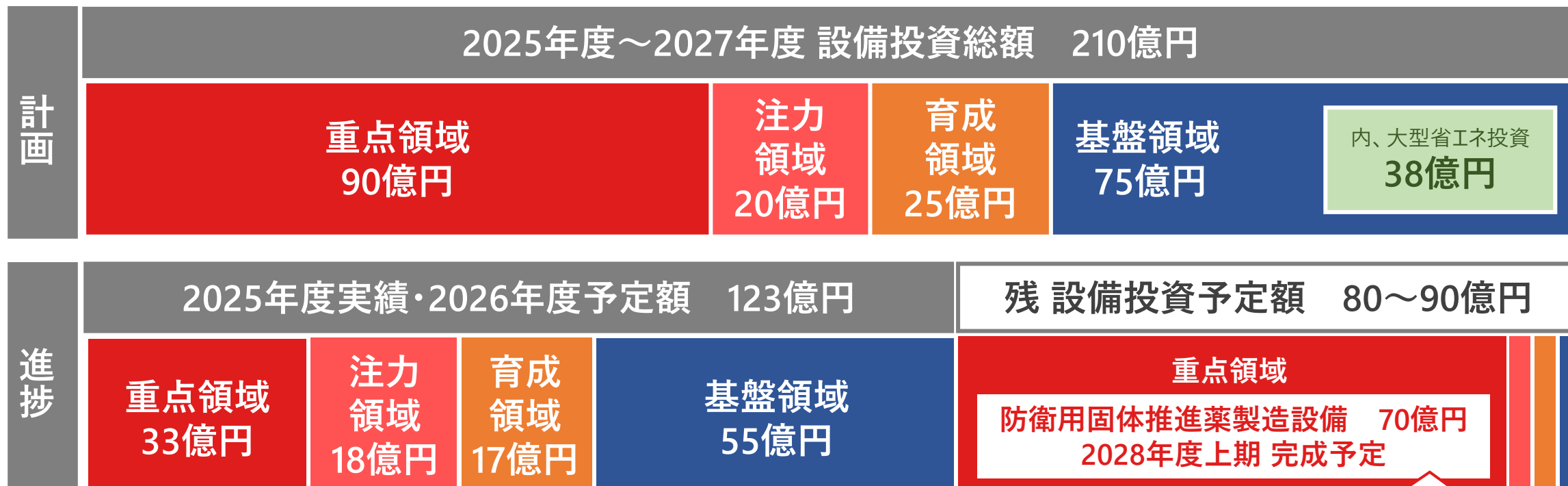
3. キャピタルアロケーション

◆ Challenge2027期間中のキャピタルアロケーションの現状と考え方



4. 設備投資

◆ 2025～2026年度期間中の設備投資の進捗



- ・ Challenge2027計画に沿って、重点領域に集中した設備投資を実行中
- ・ 大幅なCO₂削減を実現する飲料製造ラインが2026年度冬導入予定
- ・ 外部環境の変化を考慮し次期設備投資計画についても検討を進めている

総額80億円の内、
約10億円は
25～26年度に計上

5. 宇宙防衛事業の将来構想

- ◆ 安定した過塩素酸アンモニウム（AP）供給基盤を核に、
固体推進薬の量産化と周辺領域拡張を進め、2030年代の中核成長事業へ育成

2025-2027

外部環境の変化

- 防衛力整備計画
- 防衛装備移転三原則の運用指針改正（5類型の撤廃）
- 宇宙ビジネスの拡大

基盤確立

- AP増産投資の第一段階完遂、2027年度全面操業へ
→ 2023年度比2～3倍の供給能力体制を構築
- **宇宙開発・防衛用途向けの戦略的事業開発に着手**
→ さらなる設備・新工場投資、事業開発用地の取得など

2028-2030

量産立ち上げ

- 防衛用固体推進薬新工場を稼働し、本格量産へ移行
- 防衛用途向け量産開始、宇宙用途は本格市場参入へ展開
- 搭載機種ラインナップ拡充、採用機種拡大を推進

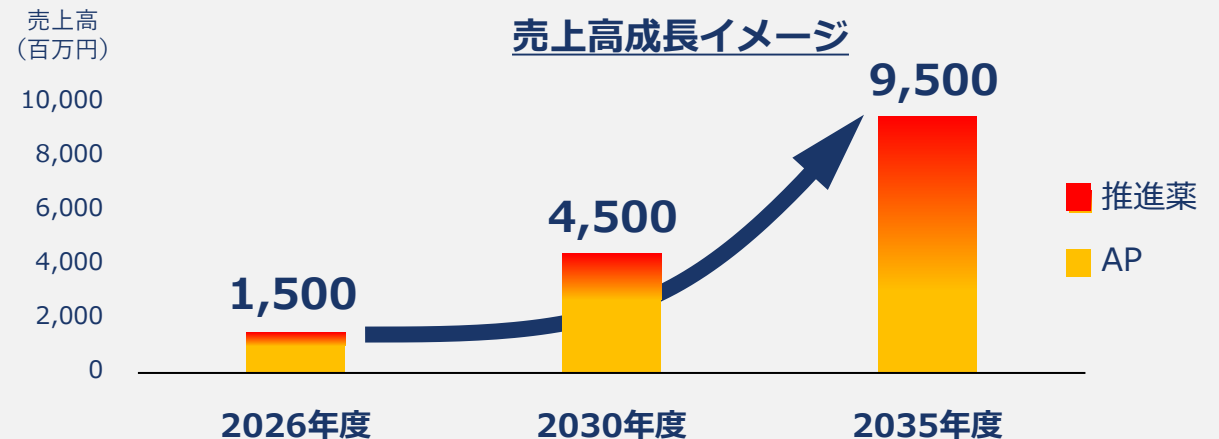
2030-2035

領域拡張・高収益化

- オリジナル推進薬の開発
- 新規防衛アイテム、関連部材・委託業務へ拡張
- 原料供給から一貫価値提供事業へ進化

Memo : カーリットの優位性

- 一貫生産体制による安定したAP供給基盤
- 長年培った火薬類と危険物の取扱ノウハウ（火薬類や毒劇物への法令遵守製造設備）
- 原料から推進薬、周辺領域までを一貫して取り扱うことによる高い事業拡張性

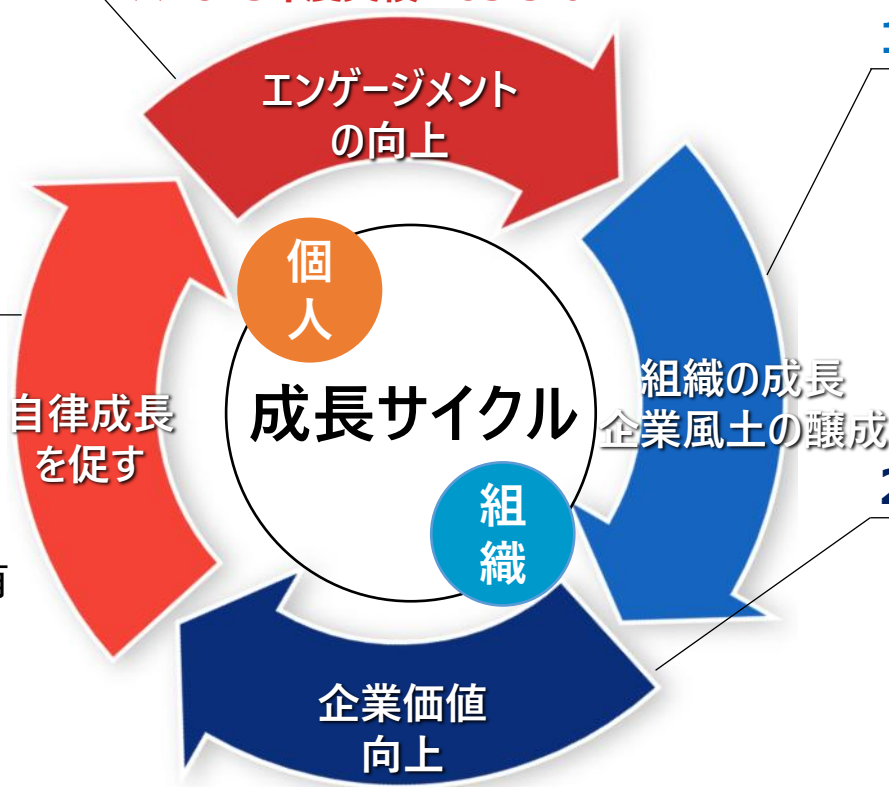


6. 人的資本投資

- ◆ “従業員エンゲージメント”を企業価値を高める重要な評価軸として位置付け、従業員の成長が企業の成長を生む好循環サイクルをまわし、次の成長フェーズを創る

従業員エンゲージメント: +6.5ポイント※ (～2027年度)

※2025年度実績: 63.5%



1. 挑戦する企業文化への原点回帰

【目的】
競争力・成長ポテンシャルの向上

【主な取り組み】
1on1 による早期の課題解決、
挑戦機会を奨励、
デジタル・IT技術の活用

2. 価値創出するタレントマネジメント

【目的】
企業価値を高める人財の活躍

【主な取り組み】
権限移譲による人財育成
正しく観察・評価できる評価者育成の強化

3. 働き方マインドセットの推進

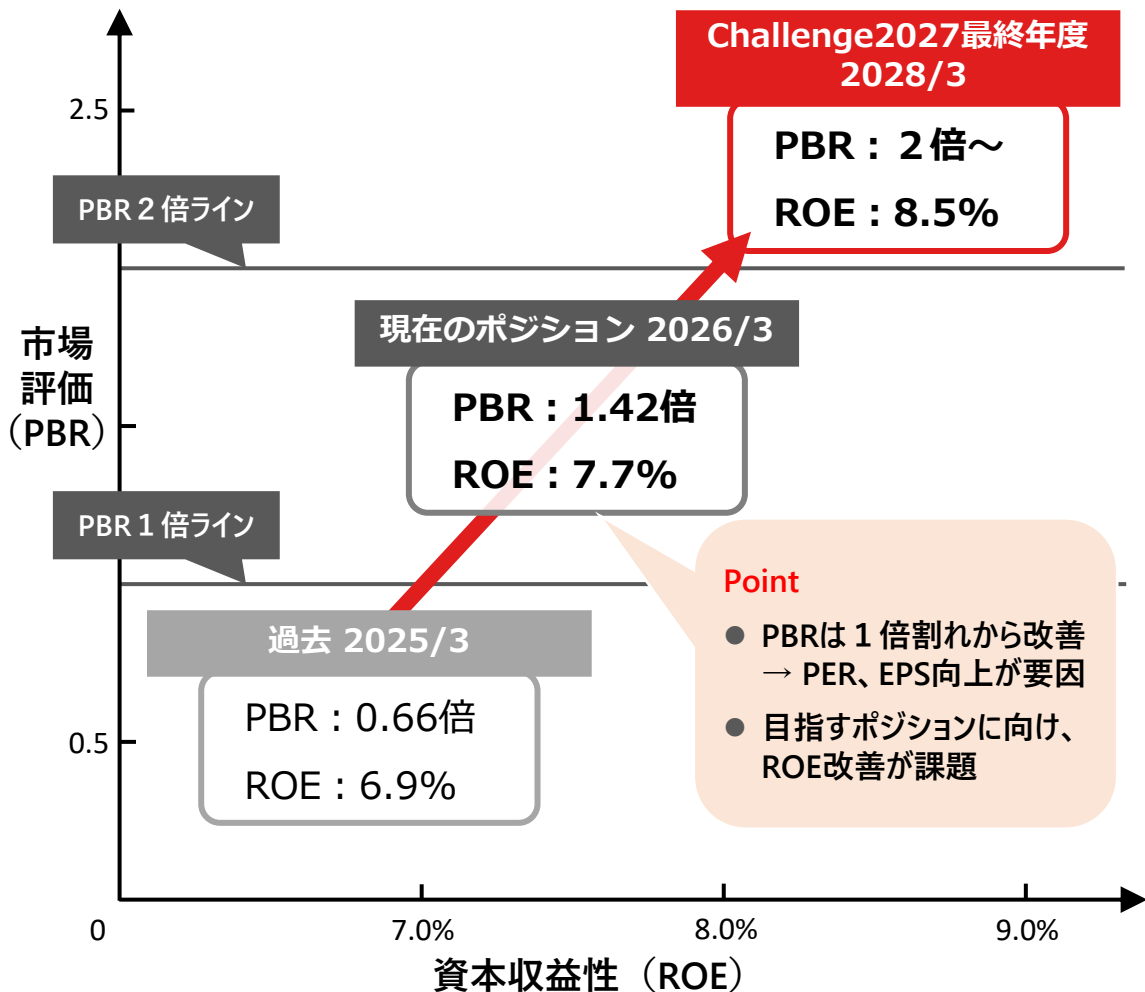
【目的】
協働意識・満足度の向上

【主な取り組み】
グループディスカッションを
定期開催し、失敗例・成功例を共有

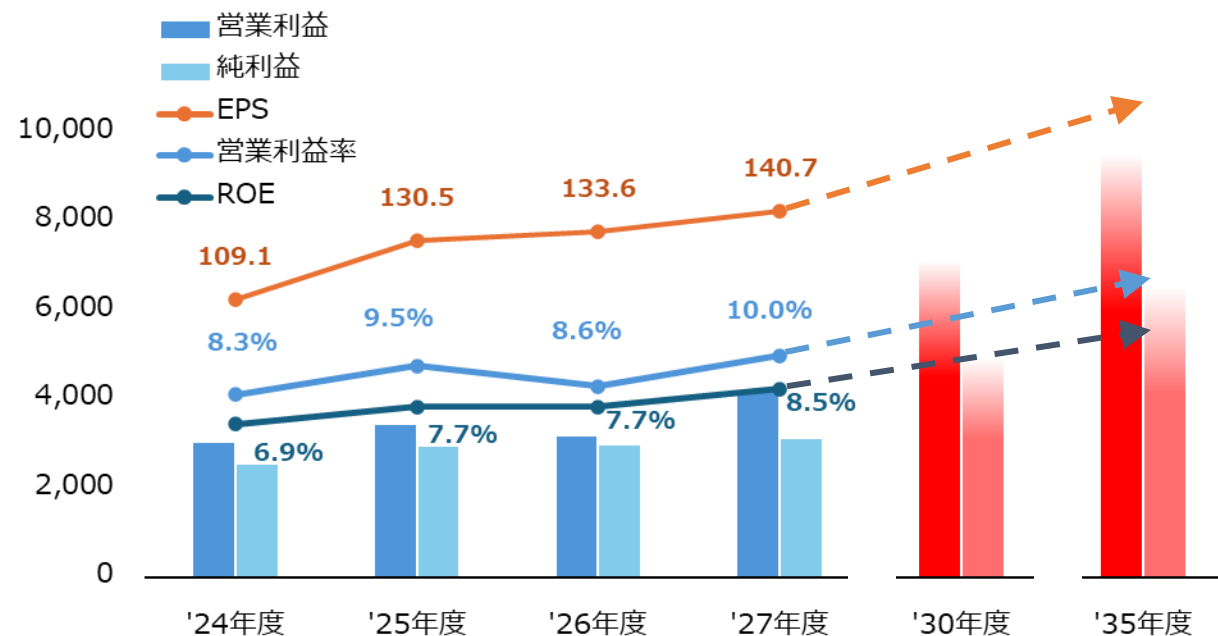
7. 資本コストを意識した経営

- ◆ 市場評価は大きく改善。資本コストに見合う収益性向上を継続して検討していく

資本収益性と市場評価に関する分析



資本収益性の推移



- ✓ **営業利益率の改善**を図り、資本コストを上回るROEを目指す
- ✓ 企業価値のベースとなる **EPS(一株当たり純利益)の安定成長**を図る

本資料に記載されているカーリットグループの業績見通しの将来に関する記述は、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと大きく異なることがあります。

尚、業績等に影響を及ぼす可能性がある要因の内、主なものは以下の通りですが、新たな要因が発生する可能性もございます。

- ① 世界の経済状況・社会情勢及び規制や税制等各種法規の動向
- ② 為替相場
- ③ 株式相場
- ④ 製品需給状況及び部材調達環境
- ⑤ 資金調達環境
- ⑥ 重要な特許の成立及び実施許諾並びに特許関連の係争等
- ⑦ 環境に関連する規制や問題
- ⑧ 製品やサービスの欠陥や瑕疵等
- ⑨ 訴訟その他の法的手続き
- ⑩ 急激な技術変化や、新技術を用いた製品の開発、製造及び市場投入時期
- ⑪ 事業構造改革
- ⑫ 情報セキュリティ
- ⑬ 大規模災害
- ⑭ テロ・戦争、感染症流行等による社会的・政治的混乱
- ⑮ 当社役員・大株主・関係会社等に関する重要事項説

